

高等学校日语专业教材系列



王宣琦 总主编

日本語

■ 姜玲 王净华 主编



WUHAN UNIVERSITY PRESS

武汉大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

日本语 / 王净华, 姜玲主编. — 武汉: 武汉大学出版社, 2008.8
ISBN 978-7-307-09498-3
I. 日… II. ①姜… ②王… III. 日语—高等学校—教材 IV. H36

中国版本图书馆CIP数据核字(2008)第125008号



王宣琦 总主编

日本語

■ 姜玲 王净华 主编



WUHAN UNIVERSITY PRESS

武汉大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

日语. 3/姜玲,王净华主编. —武汉:武汉大学出版社,2008. 8
高等学校日语专业教材系列/王宣琦总主编
ISBN 978-7-307-06468-3

I. 日… II. ①姜… ②王… III. 日语—高等学校—教材
IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2008)第 122068 号

责任编辑:王春阁 叶玲利 责任校对:程小宜 版式设计:詹锦玲

出版发行:武汉大学出版社 (430072 武昌 珞珈山)

(电子邮件: wdp4@whu.edu.cn 网址: www.wdp.com.cn)

印刷:湖北鄂东印务有限公司

开本: 720 × 1000 1/16 印张: 24.75 字数: 479 千字

版次: 2008 年 8 月第 1 版 2008 年 8 月第 1 次印刷

ISBN 978-7-307-06468-3/H · 584 定价: 34.00 元(含 MP3 光盘)

版权所有,不得翻印;凡购我社的图书,如有缺页、倒页、脱页等质量问题,请与当地图书销售部门联系调换。

前 言



中日两国民间的交流源远流长，近些年在经济、贸易、科技、学术等方面日益发展。国内的日语学习依然是经久不衰，开设日语专业的学校更是有增无减。无庸置疑，语言是一个民族文化的核心部分。欲了解一个国家也需要从语言开始。尽管本教材的使用对象为日语专业学生，但我们依然衷心地希望有更多的青年朋友通过这套教材的出版，加入到日语学习的行列，并以你们的智慧，用学到的日语知识，从更深层次去了解日本，认识日本。

本套教材的编写由武汉地区多所大学日语专业的教师来承担，其中包括武汉大学、华中师范大学、中南财经政法大学及中南民族大学等。教材的编写方针是力求达到专业化、精品化、多功能化。并希望尽可能体现一定的地方特色。根据日语专业学生的学习特点，本教材以日语专业基础阶段教学大纲为指针，按循序渐进的原则，编写出适用于日语专业基础阶段的全新教材。教材尽可能选用最新的日语素材，力图使之具有时代感。在选用素材时充分考虑到使学生在语言学习的同时，更多地了解日本的社会、文化等多方面的知识，以利于激发学生的学习热情和兴趣。

本教材共分六册，一至四册每册安排 18 篇课文，另有 1~2 段会话。课文后面所有的语法、词汇解释均用汉语编写，做到释义清晰，简洁明快。例句的编写也按照循序渐进、由简到难、突出语法点，并附参考译文。五至六册每册安排 9 课。与一至四册不同的是，第五册、第六册的语法、词汇均用日语解释。但考虑到对学生专业学习的要求，课文不附译文，练习不附参考答案。同时，为了让学生掌握更多的日语专业知识，每册教材都编写了六篇相关的“日语知识库”。此外，还编写了丰富的练习题，这些习题均与日语能力考试试题相对应。

本套教材的第三册以主要的惯用句型、惯用词组、接续助词、副词、复合词为主要内容。另外，在词汇方面突出了词义辨析、句型的比较等内容。

教材的编写是一项烦琐的系统工程。尽管我们全体参编人员竭尽全力，付出了艰辛的劳动，但由于在经验上、时间上及资料收集上等诸多方面能力有限，所以必然会存在各种错误，衷心希望使用本教材的广大师生为我们提出宝贵的意见，我们将认真吸取各方面的批评和建议，不断完善，加以改进。

本册教材配有 MP3CDR 一张，由神田英敬和吉田朗子朗读，其音质清晰，

语音语调纯正，语速适中，是广大日语学习者模仿学习不可多得的有声资料。

本册教材由姜玲负责全部材料的筛选、统稿及第 10 ~ 18 课语法、练习的编写，王净华协助完成了第 1 ~ 9 课语法部分的编写，刘东负责 1 ~ 9 课的练习与日语知识库的编写。同时，在本册教材编写过程中，张杭萍、李静、甘涛等武大校友以及华中科技大学部分师生给予了大力支持，在此一并表示衷心的感谢。

编者 王宣琦

2008 年 7 月

目次

第一課 赤蛙	1
会話Ⅰ	2
会話Ⅱ	3
単語	3
文法と文型の説明と用例	5
一、助動詞「つつある」	5
二、慣用句型「～にすぎない」	5
三、助詞「のみ」	6
四、副詞「じつと」	6
五、副詞「やがて」	7
六、副詞「むしろ」	7
七、慣用句型「(た) あげく」	8
八、接尾詞「つけ」	8
九、感叹詞「な」	8
閲読文章 温かみ醸し出す小説	9
補充単語	10
練習	10
第二課 食物の選択	16
会話Ⅰ	17
会話Ⅱ	18
単語	19
文法と文型の説明と用例	21
一、副詞「次第に(しだいに)」	21
二、慣用句型「とはいえ」	21
三、副詞「それぞれ」	22
四、慣用句型「思いもよらない」	23

五、慣用句型「により」	23
六、結尾詞「～がたい」	24
七、慣用語「枚挙にいとまがない」	24
八、慣用語「にもかかわらず」	25
九、接頭語「とも」	25
十、慣用句型「ざるをえない」	26
十一、慣用句型「にきまっている」	26
閲読文章 外食産業	27
補充単語	27
練習	28
 第三課 テレビを活用しよう	 36
会話Ⅰ	38
会話Ⅱ	38
単語	39
文法と文型の説明と用例	39
一、慣用語「なんとなく」	39
二、慣用語「逆にいえば」	40
三、慣用句型「なしに」	41
四、副詞「前もって」	42
五、慣用句型「ことだ」	42
六、終助詞「かい」	43
七、てゐる（ているの略）	43
八、副詞「一概に」	43
九、形式体言「一方」	44
十、副詞「ようやく」	45
十一、慣用句「良かれ悪しかれ」	45
閲読文章 マスコミの影響	46
補充単語	46
練習	46
【日語知识库】 温泉——日本衣食住文化的精粹	52
 第四課 自分の足	 54
会話Ⅰ	55
会話Ⅱ	56

単語	57
文法と文型の説明と用例	58
一、接尾词「～きる」	58
二、副词「ともなく」	59
三、「とうとう」与「やっと」的用法比较	60
四、副词「ふたび」	61
五、助词「ずつ」	62
六、副词「とにかく」	62
閲読文章 余暇	63
補充単語	64
練習	64
 第五課 ことばと文化	73
会話	75
単語	75
文法と文型の説明と用例	76
一、副词「必ずしも」	76
二、慣用語「意外なことに」	76
三、慣用句「打てば響く」	77
四、副词「まず」的总结	78
五、副词「どうも」的总结	79
六、副词「ひとたび」(一度)	80
閲読文章 潤滑油——言葉の機能	80
補充単語	81
練習	82
 第六課 考えることの喜び	90
会話	92
単語	93
文法と文型の説明と用例	94
一、接续助词「ないし」(乃至)	94
二、副词「いわば」	94
三、副词「要するに」	95
四、慣用語「といえは」	95
五、副词「かなり」	96

六、副词「ぐんと」	97
七、副词「まったく」(全く)	97
八、接尾词「だらけ」	98
九、その分	98
閲読文章 若いときは二度ない	99
補充単語	100
練習	101
【日语知识库】 拜访	107
第七課 読書	109
会話Ⅰ	110
会話Ⅱ	111
単語	112
文法と文型の説明と用例	113
一、接尾词「向き」	113
二、副词「やや」	113
三、副词「順々に」	114
四、慣用句型「それはそれで」	114
五、副词「かえって」	115
六、慣用句型「～を通じて」	115
七、造语成分「なり」	116
閲読文章 読書の楽しさ	117
補充単語	118
練習	119
第八課 常識	125
会話	127
単語	128
文法と文型の説明と用例	128
一、副词「少なからず」	128
二、副词「しょっちゅう」	129
三、副词「いかにも」	130
四、副词「しばしば」	130
五、副词「つくづく」	131
六、慣用語「もしかしたら」	132

閲読文章 地震と震度.....	132
補充単語.....	133
練習.....	134
第九課 情報化社会	142
会話Ⅰ.....	144
会話Ⅱ.....	144
単語.....	145
文法と文型の説明と用例.....	146
一、接続助詞「つつ」.....	146
二、形式名詞「限り」.....	147
三、提示助詞「こそ」.....	147
四、「～にせよ」「～にしろ」「～にしても」的用法比較.....	148
五、慣用句型「～なしに(は)～ない」.....	150
六、慣用句型「～ことはない」.....	150
七、慣用句型「～体言(用言终止形) +といった(ような)+体言～」.....	151
八、慣用句型「～における+体言～」.....	151
九、「～にしては」与「～にしても」的用法比較.....	152
十、慣用句型「敬して遠ざける」「敬而远之」.....	154
閲読文章 選択の接触.....	154
補充単語.....	155
練習.....	156
【日语知识库】 日本的医疗机构.....	162
第十課 日本の物価と税金	164
会話Ⅰ.....	166
会話Ⅱ.....	167
単語.....	167
文法と文型の説明と用例.....	170
一、慣用句型「名詞+を+名詞+～に(して)」.....	170
二、慣用句型「なんら～ない」.....	171
三、慣用句型「～と言って(も)よい/いい」.....	171
四、慣用句型「～を問わず/問わない」.....	172
五、慣用句型「～以上(は)」.....	173

六、慣用句型「～(に) よる」	174
七、慣用句型「～(に) わたって/わたる」	175
八、慣用句型「～に関する/関して」	176
九、副詞「せめて」	176
十、「せめて」与「すくなくとも」的用法比较	177
十一、「はずだ」与「わけだ」的用法比较	179
閲読文章 日本映画の歴史	181
補充単語	182
練習	182
 第十一課 子供の問い	 190
会話Ⅰ	192
会話Ⅱ	193
単語	194
文法と文型の説明と用例	195
一、慣用句型「～わけではない」	195
二、慣用句型「～ということ」	196
三、補助動詞「～込む」	197
四、慣用句型「～だとすれば」	198
五、慣用句型「～とか～とか」	199
六、詞組「そのもの」	200
七、終助詞「や」	201
八、慣用句型「～わりに(は)」	202
九、慣用句型「～て～て」	202
閲読文章 日本の漫画	203
補充単語	204
練習	205
 第十二課 会話の音楽	 213
会話Ⅰ	215
会話Ⅱ	215
単語	216
文法と文型の説明と用例	217
一、「～ことにする」与「～ことになる」的用法比较	217
二、慣用句型「～でも何でもなし」	218

三、慣用句型「～とすれば」	218
四、慣用句型「～一度～と/たら」	219
五、結尾詞「～にくい」	220
六、副助詞「なんて」	221
七、慣用句型「～なんか」	222
八、「つい」「うっかり」「思わず」的用法比較	223
閲読文章 浜崎あゆみの歌	226
補充単語	227
練習	228
【日語知識庫】 不吉利的“祝詞”	236
第十三課 私と僕とオレ	238
會話	240
単語	241
文法と文型の説明と用例	242
一、「～ところを～」与「～ところへ」的用法比較	242
二、慣用句型「たとえ～ても」	243
三、慣用句型「～となると～」	244
四、慣用句型「～のか」	244
五、口語約音「そりゃ」「こりゃ」	246
六、提示助詞「だって」	246
七、慣用句型「～というより」	248
八、接尾詞「ばる」	248
閲読文章 日本のサッカー	249
補充単語	250
練習	251
第十四課 新しく學問を志す若者たちへ	260
會話Ⅰ	262
會話Ⅱ	262
単語	263
文法と文型の説明と用例	264
一、慣用句型「身につける」	264
二、接續詞「したがって」	265
三、慣用句型「～以外に～ない」	266

四、「～がたい」「～にくい」「～づらい」 「～かねる」的用法比较	266
五、「とにかく」与「ともかく」的用法比较	268
六、惯用句型「～からには」	270
閲読文章 難しい習慣の違い	270
補充単語	271
練習	271
 第十五課 つばみの開花	280
会話	282
単語	283
文法と文型の説明と用例	284
一、接尾词「～やすい」「～いい」	284
二、复合动词「引き寄せる」	285
三、形容词修饰语「～た」	287
四、惯用句型「～（の）ではないだろうか」	287
五、「～ために」与「～ように」的用法比较	288
六、惯用句型「～ば～いい/よい/よろしい」	290
七、接尾词「～深い」	292
八、接续词「それなら」	292
九、「～ことだ」与「～ものだ」的用法比较	293
閲読文章 日本茶問題	296
補充単語	297
練習	297
【日语知识库】 日语中的行话	304
 第十六課 失敗するということ	307
会話Ⅰ	309
会話Ⅱ	309
単語	310
文法と文型の説明と用例	311
一、惯用句型「～たとたん（に）」	311
二、「それで」与「そこで」的用法比较	312
三、「もっとも/最も」与「いちばん/一番」的用法比较	314
四、惯用句型「～にいたる」	315

五、慣用句型「～思いを/がする」	316
六、慣用句型「目をむける」	316
七、慣用句型「～どころか」	317
八、慣用句型「～について」「に」	317
九、慣用句型「～ないで済む」	318
十、慣用句型「～得る/～得ない」	319
閲読文章 日本の野球	319
補充単語	320
練習	321
 第十七課 山の湖	 330
会話Ⅰ	332
会話Ⅱ	333
単語	333
文法と文型の説明と用例	337
一、日語的「中相動詞」	337
二、感叹词「ううん」	338
三、慣用句型「～には」	338
四、慣用句型「～たと思ったら、～」	339
五、慣用句型「～がてら」	339
六、副词或形容词「まっすぐ」	340
七、「ぎりぎり」与「すれすれ」的用法比较	340
八、终助词「の」「のよ」「のね」	342
九、「～だらけ」「～ずくめ」「まみれ」的用法比较	343
閲読文章 白神山地	344
補充単語	346
練習	347
 第十八課 命の洗濯	 357
会話Ⅰ	359
会話Ⅱ	360
単語	361
文法と文型の説明と用例	362
一、格助词「から」表示消极状态	362
二、形式名词「うち」	363

三、惯用句型「旅に出る/立つ」	364
四、「ますます」「どんどん」「だんだん」的用法比较	365
五、惯用句型「～たびに」	366
六、惯用句型「～に（は）手を付ける」	367
七、惯用句型「～まで（のこと）だ」	367
閲読文章 日本交通	368
補充単語	369
練習	370
【日语知识库】 古代汉语传入对日语的影响	378

第一課



赤 蛙

赤蛙は波に全く翻弄されつつある。かろうじて浮いているにすぎぬようだが、それが彼の必死の姿であることは、彼の浮いている石陰のすぐ近くには渦巻きがあつて、絶えずそこへ彼を引きずり込もうとしていることからわかるのだった。彼に残された活路はたった一つきりだった。石に這い上がることである。だがその石の面たるやほとんど直立していて、そのうえに水垢でてらてらに滑っこなっているのだ。長い後肢も水では跳躍力もきかず、無力に伸ばしたり屈めたりするのみだった。時々彼の前肢は石の小さなくぼみに取りついていたが、すぐにくるっとひっくり返って紅い斑紋のある黄色な腹をむなしくもがいた。私は何か長い棒のようなものを差し伸べてやりたかったが、そんなものは見あたらなかった。今はただじっとその帰趨を見守っているばかりである。

やがて赤蛙は最後の飛びつきらしきものを石のくぼみに向かって試みた。そうしてくるっとひっくり返ると黄色い腹を上にしたまま、何の抵抗らしいものも示さずに、むしろ静かに、すうっと消えるような趣で、渦巻きの中にのみこまれていった。私は流れに沿って小走りに走った。赤蛙が再び浮くかもしれぬ川面のあたりに眼をこらした。しかし彼は今度はもう二度と浮き上がってはこなかった。

私はあたりが急に死んだように静かになったのを感じた。事実、にわかに薄

暗くなってもきていた。

私は歩きながらさっきからのことを考え続けた。秋の夕べ、不可解な格闘を演じたあげく、精魂尽きて波間に没し去った赤蛙の運命は、滑稽というよりは悲劇的なものに思えた。彼を駆り立てていたあの執念の原動力はいったい何であつたのだろう。それは依然わからない。わかるはずもない。しかし私には本能的な生の衝動以上のものがあると思えなかった。活動にはいる前にじつとくまっていた姿、急流に無二無三に突っこんで行った姿、洲の端につかまってほっとしていた姿——すべてそこには表情があつた。心理さえあつた。それらは人間の場合のようにこっちに伝わってきた。明確な目的意志にもとづいて行動しているものからでなくてはあの感じは来ない。ましてや、あの波間に没し去った最後の瞬間に至っては。そこには刀折れ、矢尽きた感じがあつた。力の限り戦つてき、最後に運命に従順なものの姿であつた。そういうものだけが持つ静かささえあつた。馬とか犬とか猫とかいうような動物ではないのだ。蛙なのだ。蛙からさえこの感じが来る、という事実が私を強く打った。

島木健作「赤蛙」による

◎会話 I

男：林さんは何でもできていいですね。

女：そんなことないですよ。

男：いやいや、ピアノも絵も上手だし、いろいろな国の料理もなさるそうですね。

女：いいえ、おいしいものが食べただけですよ。

男：今度ごちそうになろうかな。

女：でもどちらかというスポーツのほうが得意ですね。水泳とかスキーとか。

男：え？ スポーツもなさるんですか。

女：ええ、でもスキーより水泳ですね。今度プールに行きませんか。

男：あ、僕はちょっと…